

多様な連携による **MATSUE MODEL** の構築

美保関

気候変動対策の
取り組みを進めている
美保関地域で協議会を立上



漁業者、専門的技術を有する
企業・団体、学校、行政など
多様な連携

【目的】

協議会は、水域資源の保全・活用の両立による経済循環の促進及び地域への愛着・誇りの醸成に資することを目的とする。

【事業内容】

- (1) 気候変動対策を目的とした **ワカメ養殖** 活動
- (2) **藻場(漁場)の再生**
- (3) 地域の小学生等を対象とした **環境学習**
- (4) **観光資源** の活用
- (5) **J-ブルークレジット®の取得** と活用に向けた活動
- (6) その他、協議会の目的を達成するために必要な事項

○事業実施スケジュール

		令和7年度											令和8年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ワカメ養殖	第2回協議会								設置			収穫	撤去							設置			収穫		
									収穫量などのデータ収集・育成状況のモニタリング																
		高水温に対応した配偶体の導入・調査・研究																							
藻場造成 (片江モデル)	事業計画の確認	藻場構造物製作	構造物・種苗投入																						
		モニタリング（育成状況確認など）																							
		機焼け対策・藻場造成検討（胞子飛散による藻場の形成、漁礁ブロックなど）																							
付加価値向上		6次産業化、新商品開発（独自加工製品化）、地域特産品化、ブルーカーボンによる商品への付加価値を																							
環境学習									種付体験		収穫体験									種付体験		収穫体験			
		プラごみ問題、漂着ごみ、地球温暖化による影響・魚種の変化、地引網体験、豊かな自然・ジオパークなど																							
観光振興		体験型ツーリズム造成・実施（海の豊かさ体験観光プラン：カヌー、ワカメ収穫、イカ釣り、アゴすくい																							
クレジット申請 提出・審査期間		JBE事前協議（ブルーカーボン認証機関）、情報収集																							

※協議会及び部会については適時開催し、情報を共有しながら取り組みを進めていく。

MATSUE MODEL のイメージ

